

第2回 定例会

平成29年第2回定例会は、6月6日から15日までの10日間の会期でおこなわれました。定例会では、議案5件、同意1件、陳情1件、発議1件、発委1件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。また吉岡町振興公社の経営状況など、報告4件がありました。

リバートピア吉岡の

入場者は1万1235人減

平成28年度の吉岡町振興公社の事業報告および29年度の事業計画の報告がありました。当期総売上高は、1億8227万円（前年対比140万円増）で、純利益704万円（68万円増）でした。

リバートピア吉岡の年間温泉入館者数は1万1235人減の27万9363人。純売上金額1億4235万円（38万円減）でした。緑地運動公園の年間利用者数は、ケイマン

ゴルフ4097人（879人増）、パークゴルフ1万8990人（1356人増）、グラウンドゴルフ9378人（1068人増）、テニス4674人（170人減）、合計利用料は1611万円（178万円増）でした。

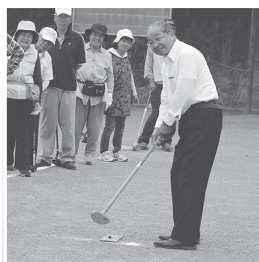
施設を取り巻く環境として、今年3月の国道17号（上武国道）の全線開通により、利用者の増加がはかられました。

平成29年度事業計画

68万円増



ナイス
ショット



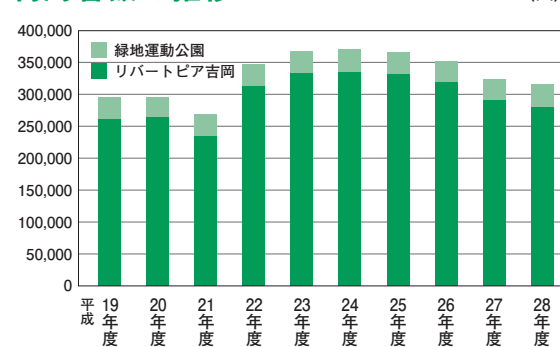
老人クラブ主催グラウンドゴルフ大会（緑地運動公園）

(株)吉岡町振興公社経営状況報告

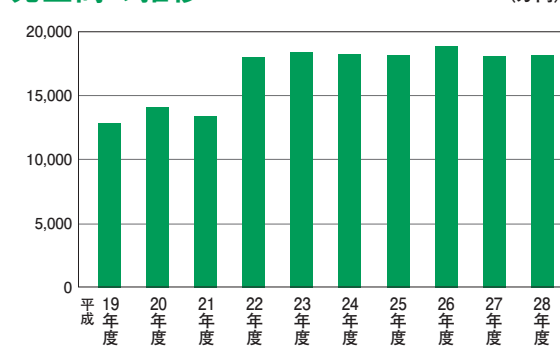
純利益は前年対比



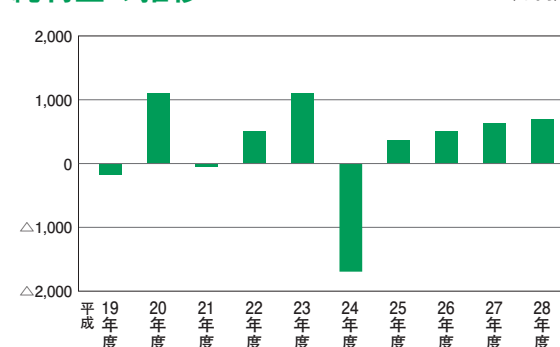
利用者数の推移



売上高の推移



純利益の推移



問 上武国道開通の影響で4月の温泉入

では、緑地運動公園の利用者が増加にあることから、温泉や食事を組み合わせたセット券の販売を増やし、温泉施設への取り込みをはかります。

緑地運動公園では、町民参加が可能なパークゴルフ大会の充実と、一日滞在して楽しめる身近な複合施設として売り出していきます。

問 周りが減っているからでなく、アイデアや対策は。

答 利用者の減少は、広域圏の全体的な傾向。

問 年間温泉入館者が平成26・27・28年と減ってきている原因は。

答 館者数は。昨年4月は2万1869人、今年は2万1340人で若干減。食堂売上高は増。

問 館内にキッズスペースを設置したところ、ファミリー層が増加している。

答 パークゴルフ場の36ホール化の計画は、公園全体の魅力向上策として総合的に検討。

問 繰越余剰金、1662万円の検討は。

答 老朽化した施設の修繕、利用者の利便性にと考えている。

問 ホールインワンを目指して

答 ホールインワンを目指して



ホールインワンを目指して